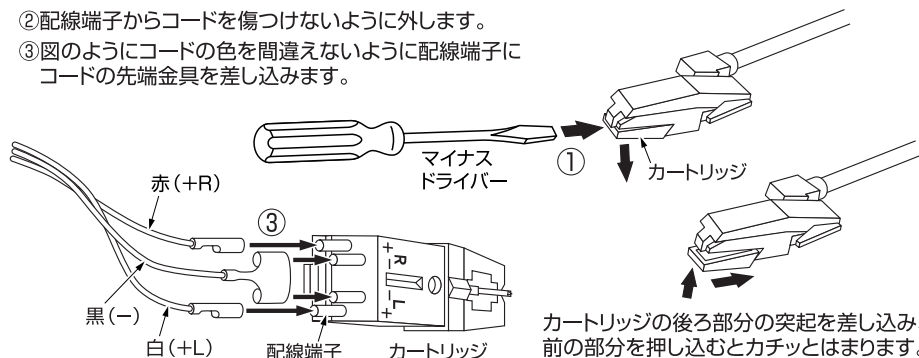


レコード針の交換



- レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いには十分注意してください。
- 針先の耐久時間は、約500時間です。それ以上使い続けると、大切なレコード盤を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。

- ① マイナスドライバーなどをカートリッジ (針の部分) の上のすき間に差し込み、軽く引き下げると外れます。
- ② 配線端子からコードを傷つけないように外します。
- ③ 図のようにコードの色を間違えないように配線端子にコードの先端金具を差し込みます。



保証書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品名	マルチコンポNEXT (ネクスト)	
お客様	お名前	ご住所
	電話番号 ()	
お買上げ日	年 月 日	取扱販売店名・住所・電話番号
	保証期間 (お買上げ日より) 本体 1 年 (但し消耗品は除く)	

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買上げの販売店にお申し付けください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ③ 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
 - ④ 異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
 - ⑤ 用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
 - ⑥ 本書のご提示がない場合。
 - ⑦ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えた場合。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

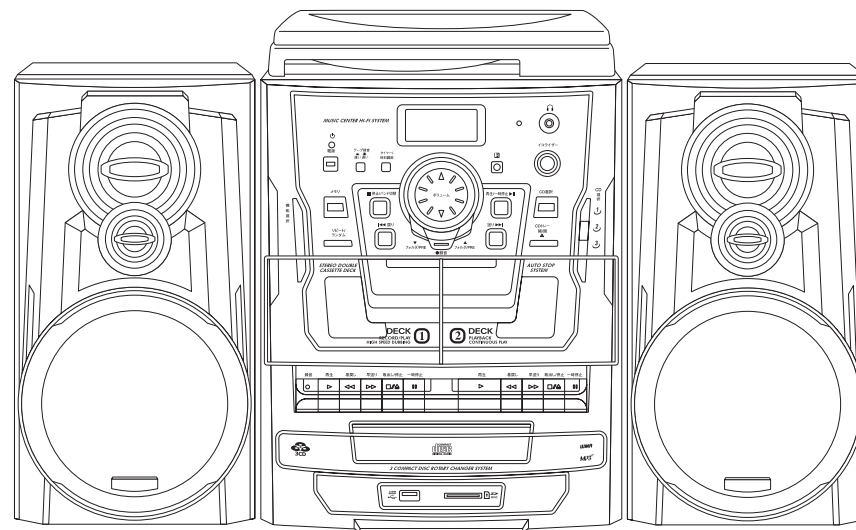
輸入元 株式会社とうしょう

HF-638PE

ネクスト マルチコンポNEXT

取扱説明書 (保証書付)

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

3CD

MP3
PLAYBACK

USB

SD CARD

TURNTABLE

KARAOKE

輸入販売元 (株)とうしょう 埼玉県八潮市八潮3-9-7-102

安全上のご注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例	
		△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。	

警告

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●電池をリモコンに挿入するとき、極性表示（プラス[+]またはマイナス[-]）に注意し、間違えないでください。電池の破裂・液漏れによる火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。

●煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●乾電池は充電しないでください。電池の破壊・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

注意

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。

●長い間で使用にならないときや乾電池が消耗して使えなくなったときは、乾電池をリモコンから取り出してください。乾電池の液漏れによる故障の原因となります。

こんなときは／故障かな？と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症 状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる 雑音が入る	●ボリュームは十分ですか？ ●本体裏側のスピーカー端子に、スピーカープラグが確実に装着していますか？ ●ヘッドホンジャックに差したままになっていませんか？
リモコン	リモコンが使えない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●リモコンの電池は古くなっていませんか？ ●リモコンの電池は正しい向きで入っていますか？
CDプレーヤー	再生できない 音が出ない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●機能選択ボタンはCDになっていますか？ ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか？ ●CDの読み取りレンズが汚れている可能性がありますので専用クリーナーできれいにしてください。 ●寒冷時、暖房を使用したときレンズに結露の可能性があります。レンズが室温になつてからご使用ください。
レコードプレーヤー	ターンテーブルが回らない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●機能選択ボタンはレコードになっていますか？
	音が出ない	●レコード針保護カバーを前方向にスライドさせ、外してありますか？
カセットテープ	音が出ない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●テープは正しく録音されたものですか？ ●機能選択ボタンはテープになっていますか？ ●録音ヘッドが汚れていませんか？
	テープが回らない	●一時停止ボタンが押したままになっていませんか？ ●ゴムローラーが汚れていませんか？
	録音できない	●テープの誤消去防止ツメが折れていませんか？ ●カセットは上下、左右、正しい向きに挿入されていますか？
ラジオ	音が出ない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●機能選択ボタンはラジオになっていますか？ ●お聴きになりたい番組の周波数は合っていますか？
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。（FM） ●本体の設置場所・本体の向きを変えてください。（AM）
USBメモリー	音が出ない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●機能選択ボタンはUSBになっていますか？ ●挿入口の奥まで確実に差し込まれていますか？
SDカード	音が出ない	●本体の電源スイッチはONになっていますか？ ●機能選択ボタンはSDカードになっていますか？ ●挿入口の奥まで確実に差し込まれていますか？ ●SDカードがLOCK（ロック）されていませんか？

日常のお手入れ

⚠ 注意

●高温多湿の場所に設置しないでください

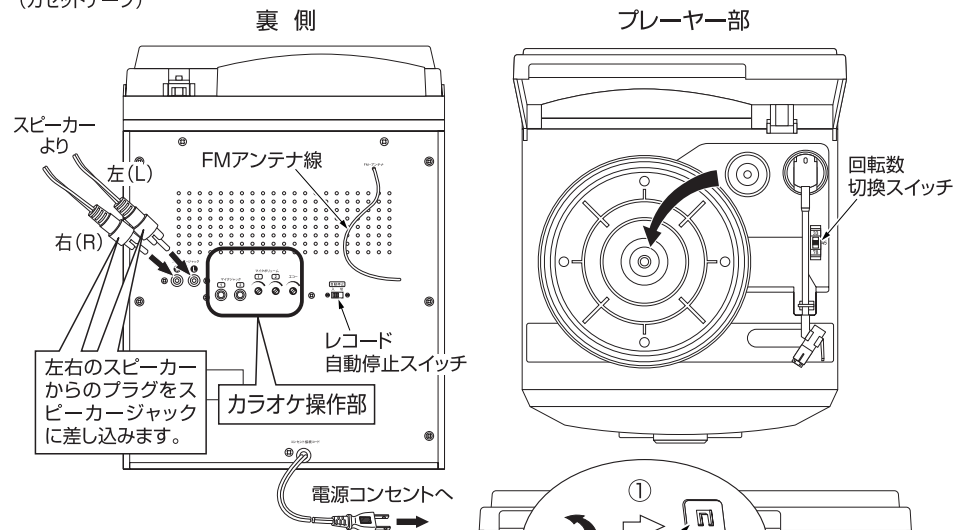
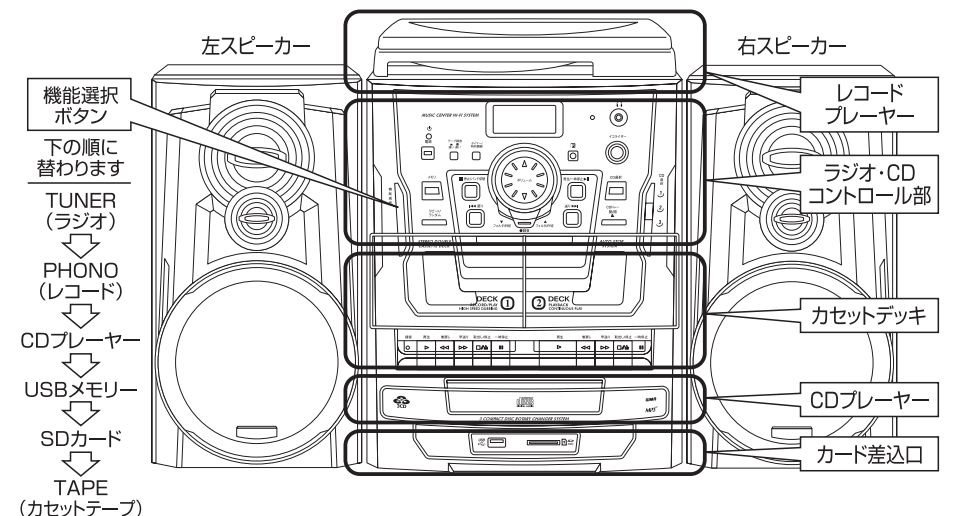
正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

●汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。

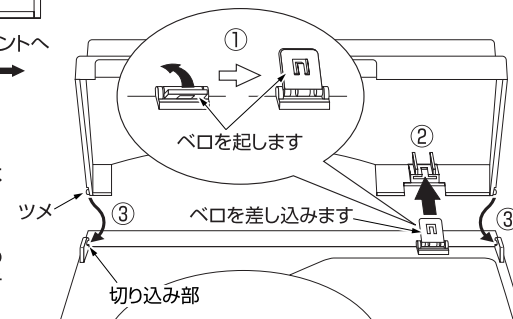
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

各部の機能とセッティング

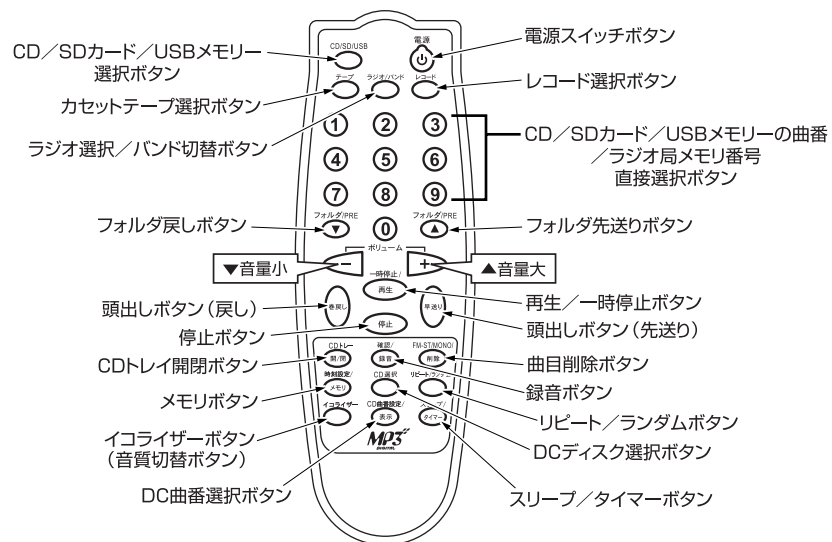
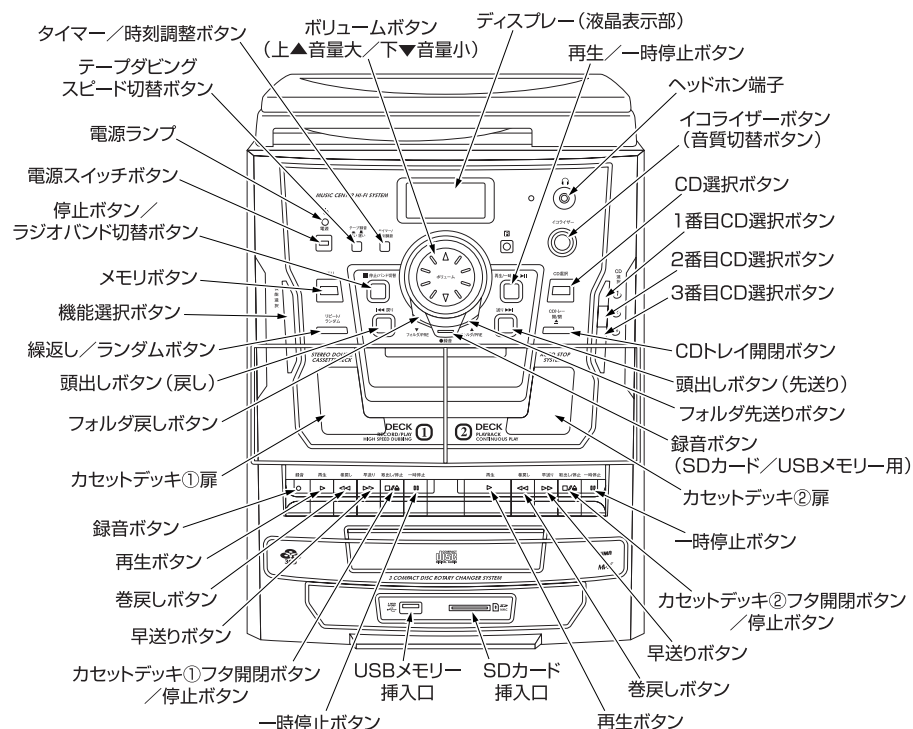


■プレーヤーカバーの取付け

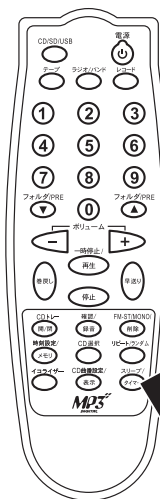
- ①右図のようにカバーを取付けやすいように、ベロを起します。
- ②ベロをカバーの長穴に差し込みます。
- ③カバーにあるツメを切り込み部にはめ込みます。両手の親指と人差し指でカチッと音がするまで押し込んでください。



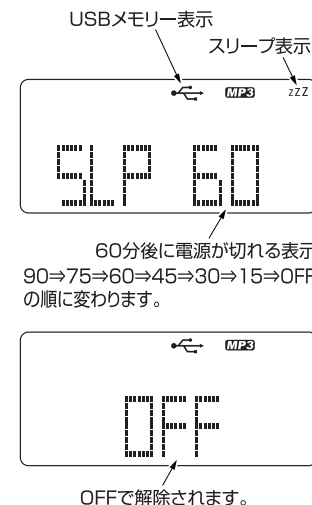
各部の名称とリモコン機能



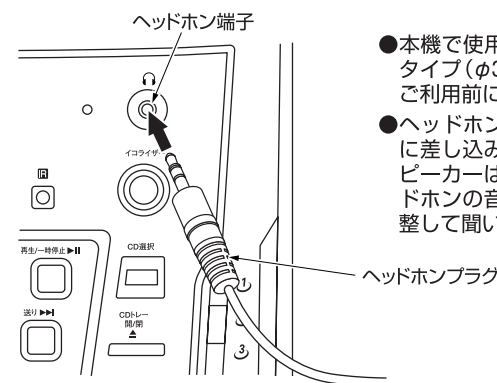
スリープ機能



- スリープ設定は電源を「ON」の状態で行ないます。ラジオ、レコード、CD、USBメモリー、SDカード、カセットテープをそれぞれ聴いているときにリモコンの**スリープ**ボタンを押すと画面に「SLP 90」と表示されます。押すたびに90分⇒75分⇒60分⇒45分⇒30分⇒15分⇒OFFと変わります。これは何分後に電源が切れるかとの表示ですので、切りたい時間にセットしてください。切りたい時間で止めればセットになり画面右上に「ZZZ」の表示が出ます。
- OFFでスリープが解除されます。



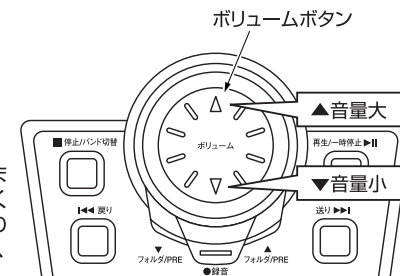
ヘッドホンの使用



- 本機で使用するヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ(φ3.5mm)でインピーダンス8〜32Ωです。ご利用前にご確認ください。
- ヘッドホンのプラグを本機前面の**ヘッドホンジャック**に差し込みます。ヘッドホンを使用の際は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームボタンで適切な大きさに調整して聞いてください。

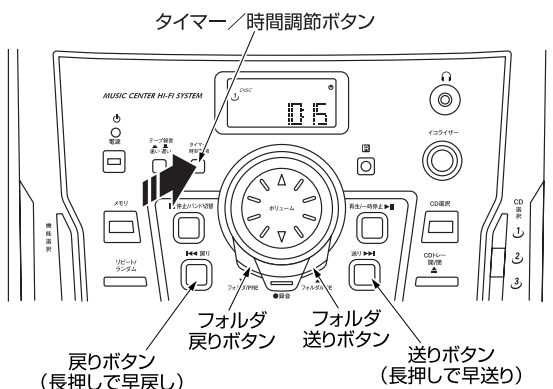
ポイント

音量の調整はプッシュ式になっています。上向きの△を押すと音が大きくなり、下向きの▽を押すと小さくなります。お好みの音量になりましたら、手を離してください。



タイマー(目覚まし)機能

※タイマー(目覚まし)を設定できるSOURCEモードはUSBメモリー・SDカード・CD・TUNER(ラジオ)です。レコード・カセットは機能しません。



●目覚まし機能でラジオ(TUNER)、CD、USBメモリー、SDカードの音楽を指定した時間に鳴らすことができます。

※レコード、カセットは設定できません。

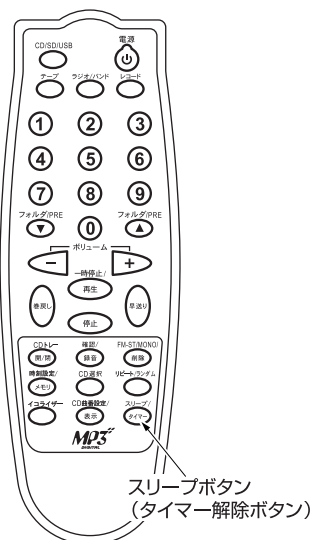
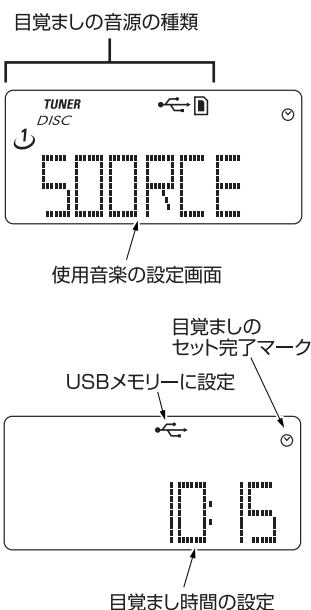
- ①電源を切ってスタンバイ状態(電源が切られてディスプレイが薄青色のとき)で設定してください。
- ②タイマー/時刻調節ボタンを長押し(約5秒)すると「SET TIMER」の表示が液晶に流れます。その後「SET SOURCE」の表示になります。
- ③「SET SOURCE」の表示になったら、戻るボタン・送りボタンを押して、目覚まし演奏させたいモードを選びます。
- ④タイマー/時刻調節ボタンを押すと液晶に「00:00」の表示が出ます。
- ⑤フォルダー/PREボタンを押して「時」を合わせます。
- ⑥戻り・送りボタンを押して「分」を合わせます。
- ⑦「時」「分」を設定し終わりましたらタイマー/時刻調節ボタンを押すと設定完了です。液晶右上にⓈ時計マークが表示されます。

ポイント

CDを選択してDISK 1、2、3を選んだ場合、もし選んだトレイにCDが無かったときは、次のCDが再生されます。また、CDが見つからなかったときは、ラジオの放送になります。

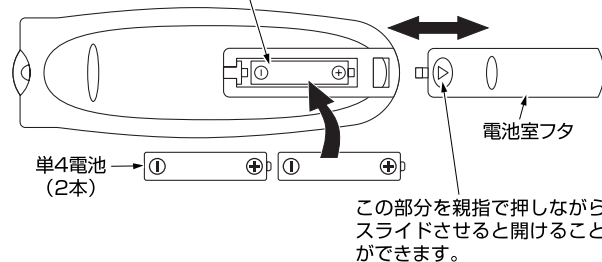
⑧目覚ましの設定を解除するときは、リモコンのスリープ/タイマーボタンを押してください。時計マークが消えて解除になります。

設定された時間になると音量はVOL 0からだんだん大きくなり、VOL 24までとなります。



リモコンの準備

電池室内部の電池図のように向きを確認して1本を奥に入れ、縦にもう1本並べてセットしてください。



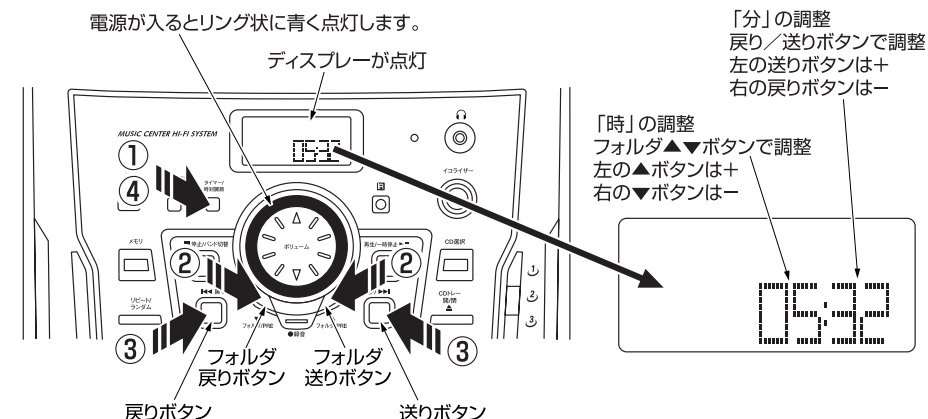
- 2本の電池(単4電池)を入れ、フタを開けてください。リモコンの操作がしにくくなったなら、新しい電池に交換してください。+と-の向きを正しく入れてください。
- 使用範囲は7m以内です。
- リモコンは本体に向かって操作してください。

タイマー(時刻)の合わせ方

●電源コンセントを差込むとディスプレイが薄青く点灯します(スタンバイ状態)。本電源を入れる前に時刻を合わせてください。

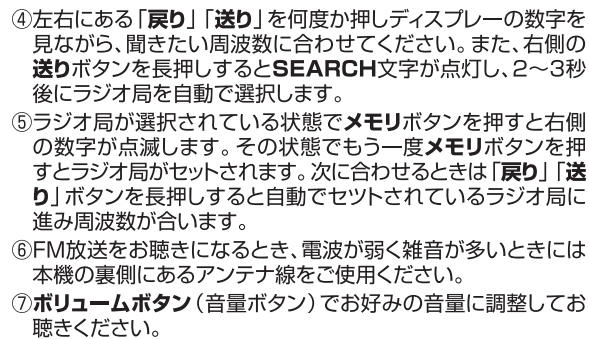
- ①スタンバイ状態でタイマー/時刻調節ボタン一度を押します。「SET CLOCK」の文字が液晶に流れ「24H」表示が出ます。
- ②タイマー/時刻調節ボタンを一度押し「12H・24H」の設定をしてください。
- ③フォルダ/PREボタンを押して「時」を合わせます。
- ④戻り・送りボタンを押して「分」を合わせます。
- ⑤「時」「分」を設定し終わりましたら、タイマー/時刻調節ボタンを押すと設定完了です。

※設定中に誤った設定をした場合は、一度コンセントを抜き、スタンバイ状態にして再設定してください。



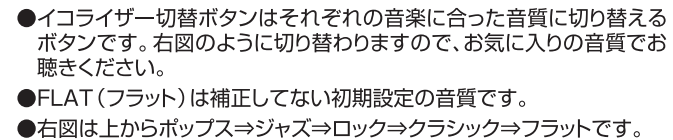
ラジオの聴き方

- 電源スイッチボタン ラジオバンド切替ボタン

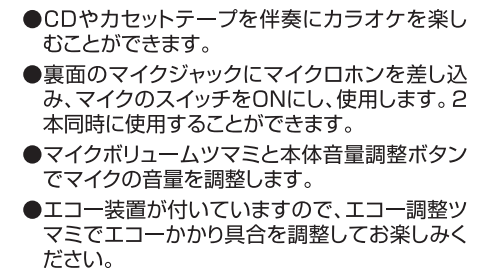


FMアンテナ線は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けます。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

注：AM放送受信時は、FMアンテナは働きません。本機の設置場所や向きを変えると良く聞こえるようになります。



カラオケ機能の使い方



ガイドボーカルの入っているCDまたは、カセットテープのボーカルは消えません。伴奏のみの入ったカラオケを使用してください。

- 録音用の**DECK 1**にツメ折れない新しいカセットテープを入れてください。
- マイクのボリュームとCDまたは、DECK 2のカラオケの演奏の音量を調整します。録音ボタンを押してください。歌とカラオケ演奏が録音されます。
- **取出し／停止**ボタンを押すと録音が終了します。

再生方法

- 音楽テープまたは、録音済みテープを入れてください。**再生**ボタンを押すと、再生が始まります。
- 巻戻し**ボタンを押すと、テープを速いスピードで戻すことができます。**早送り**ボタンを押すと、テープを速いスピードで前に送ることができます。
- 一時停止**ボタンを押すと一時的にテープが止まります。もう一度**一時停止**ボタンを押すと一時停止が解除され、再びテープが再生されます。
- 取出し／停止**ボタンを押すと再生が終了します。テープが最後まで行くと自動的に停止します。

■連続再生について

- DECK 2**から**DECK 1**への連続再生ができます。
- ①**DECK 2**の**一時停止**ボタンと**再生**ボタンを同時に押します。
- ②**DECK 1**の**一時停止**ボタンと**再生**ボタンを同時に押します。
- ③**DECK 2**の**一時停止**ボタンを解除(押す)すると、**DECK 2**が再生され、終了すると**DECK 1**への連続再生が始まります。
- ④**DECK 1**の再生が終了すると自動的に停止します。

録音方法

- テープ底の誤消去防止ツメが折れていないか確認してください。
- 本機はLAC機能がついていますので、録音レベルが自動的に調整されますので、特別に調整する必要がありません。
- 録音用の**DECK 1**にカセットテープを入れてください。
- CD、ラジオ、レコード、USBメモリー、SDカードからの録音は、それぞれを機能選択ボタンで選択し、聞いている状態で、**録音**と**再生**のボタンを同時に押してください。今聞いているCD、ラジオ、レコード、USBメモリー、SDカードの録音が始まります。
- 取出し／停止**ボタンを押すと録音が終了します。録音テープが最後まで行くと自動的に停止します。

テープのダビング方法

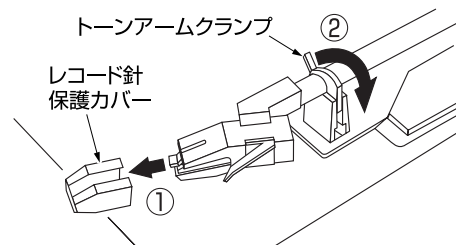
■ノーマルスピードダビング方法

- ①テープ録音(高速ダビング)ボタンを**遅い**ポジションにしてください。(ボタンが飛び出した状態)
- ②録音してないテープ(録音用)を**DECK 1**に入れ、**一時停止**ボタンを押します。次に**録音**ボタンを押します。
- ③**DECK 2**に録音されているダビングするテープ(再生用)を入れ、**再生**ボタンを押します。
- ④**DECK 1**の**一時停止**ボタンを押します。一時停止が解除されダビング録音が始まります。
- ⑤**取出し／停止**ボタンを押すとダビング録音が終了します。

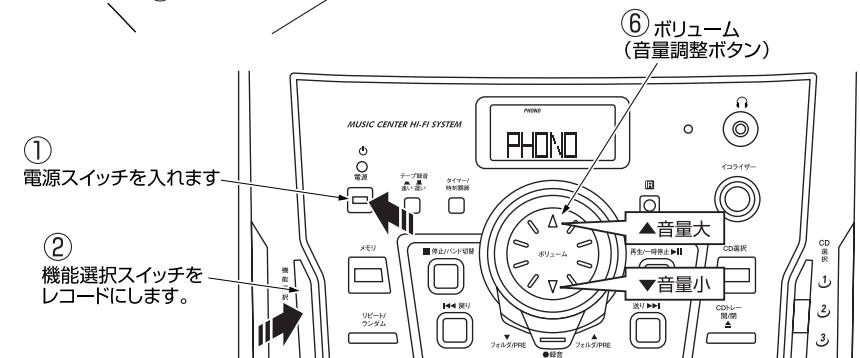
■高速ダビング方法

- この機器はノーマルスピードの約2～3倍でハイスピードダビングができます。
 - ①テープ録音(高速ダビング)ボタンを**速い**ポジションにしてください。(ボタンが押された状態)
 - ②録音してないテープ(録音用)を**DECK 1**に入れ、**一時停止**ボタンを押します。次に**録音**ボタンを押します。
 - ③**DECK 2**に録音されているダビングするテープ(再生用)を入れ、**再生**ボタンを押します。
 - ④**DECK 1**の**一時停止**ボタンを押します。一時停止が解除されダビング録音が始まります。
 - ⑤**取出し／停止**ボタンを押すとダビング録音が終了します。
- ※録音失敗の原因になりますので、ハイスピードダビング中に切換えボタンを操作しないでください。

レコードプレーヤーの使い方



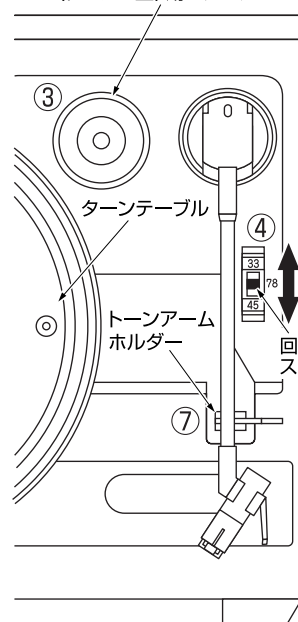
- ①レコード針保護カバーを前方向へスライドさせ外します。
- ②トーンアームクランプを外してください。



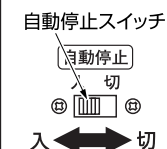
- ①電源スイッチを入れます
- ②機能選択スイッチをレコードにします。

- ③電源スイッチを入れます。
- ④前面パネルの左側にある**機能選択スイッチ**をレコードの位置に切り換えます。
- ⑤レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)を聞くときは、センター軸にアダプターをのせてレコードをセットしてください。
- ⑥レコードの種類に応じて、**回転数切換スイッチ**をスライドさせ、スピードを合わせます。
- ⑦針のついたヘッドをレコードに近づけるとターンテーブルが回転しますので、静かに針をのせてください。演奏が始まります。
- ⑧**ボリューム**ボタンの上部を押すと大きく、下部を押すと小さくなります。お好みの音量でお聴きください。
- ⑨レコードの演奏途中でストップしたい場合や演奏が終了したら、レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

EP(ドーナツ盤)用アダプター



■自動停止スイッチ(後側にあります)



通常の使用には、本体後側にある自動停止スイッチを「入」側にしてください。演奏が終わるとターンテーブルは自動に止まります。しかし、EP(ドーナツ盤)や、SP盤を聴くときは、レコード盤の種類により、途中でレコードが止まることがありますので、スイッチは「切」側でご使用ください。

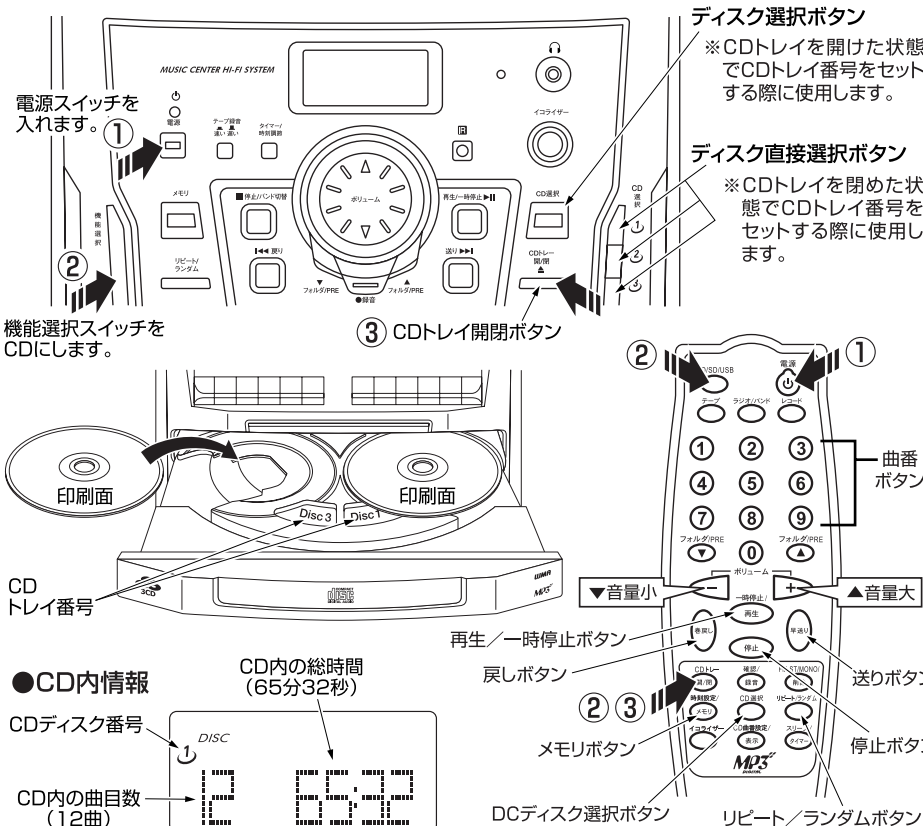
CDプレーヤーの使い方

CDディスクの取り扱いについて

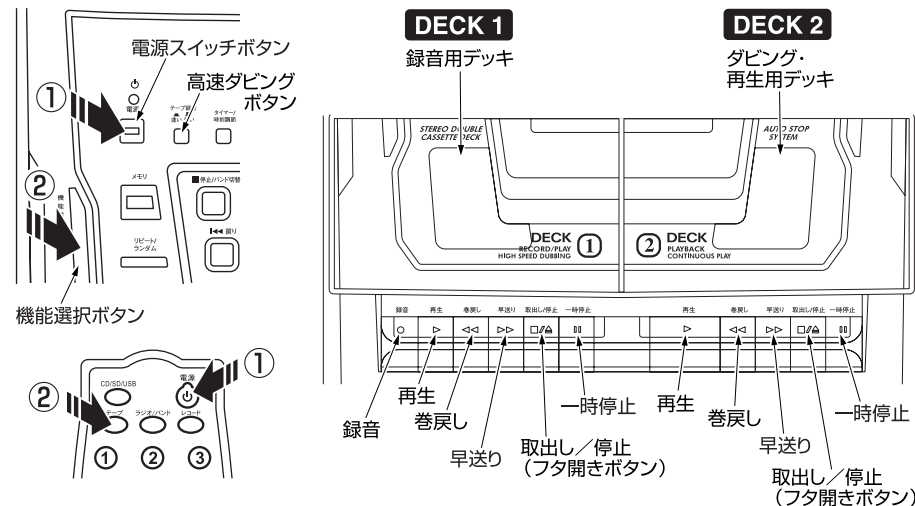
- CDに付着した指紋やホコリは、柔らかい布で拭き取ってください。ディスクの中央部から外側に向けて拭くようにしてください。細かいキズができてても音質への影響はほとんどありません。
- CDのクリーニングにレコード用のクリーナスプレー、静電気防止スプレー、シンナーなどの化学製品は絶対に使用しないでください。ディスクの表面を破損する恐れがあります。
- CDディスクを使用した後は、必ずCDのケースに収納してください。大きいキズがつくと、演奏中に音飛びなどの原因となります。
- 直射日光や高温、多湿の所に置かないでください。ディスクが変形することがあります。
- CDディスクのオモテ面、裏面とも書き込みは行なわないでください。キズがついたり、フェルトペンのインクによって表面にダメージを与えることがあります。

■CDのセット

- ①電源スイッチを入れ、機能選択スイッチを**CD**にします。
- ②**CD開閉ボタン**を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にしてCDをセットします。CDトレイ番号確認しながら、3枚までセットできます。
- ③**CD開閉ボタン**を押してトレイを閉めます。



カセットデッキの使い方



■カセットテープの出し入れ

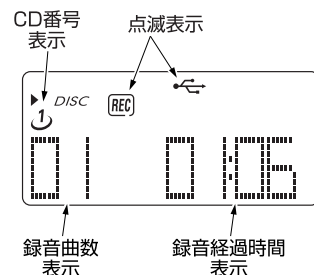
- 電源スイッチを入れ、機能選択ボタンで**TAPE**にします。
- 取出し/停止**ボタンを押し、カセットドアを開け、カセットテープを正しい位置にセットします。
- テープの再生・録音したい面を手前にし、テープ面を下側にして垂直に入れ、カセットドアを手で静かに閉めてください。
- テープを取り出すときは、**取出し/停止**ボタンを押し、カセットドアを開き取り出してください。

カセットテープの取り扱いについて

- 機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの原因になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。
- 使用するテープは、市販されているブランド商品のC-30、C-60、C-90タイプを使用してください。C-120タイプはテープが薄く、機器の安定性が悪いので、ご使用にならないでください。また、**テープの種類はノーマルテープ TYPE I**を使用してください。指定以外のテープでは性能が保証できません。機器の故障の原因になります。
- 大切な録音済みテープは、誤って消してしまわないように、テープの底についているツメをドライバーの先などで折ると録音できなくなります。そのテープを再度録音に使用したいときは、折ってしまった穴にセロハンテープなどを貼ると再び使用できるようになります。(6ページ参照)
- 機器の性能を十分発揮するために、定期的にヘッドとゴムローラーの清掃をしてください。テープの酸化物質やホコリなどが表面に付きますと、音質が悪くなったり、回転むらが起こったりします。布や専用のクリーナーでヘッドの表面、ゴムローラーの汚れを丁寧に拭き取ってください。

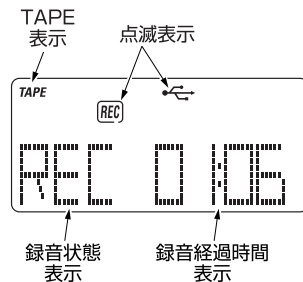
CDからの録音

- ①USBメモリーをUSB挿入口に奥までしっかり差し込みます。
- ②機能選択ボタンで**CD**にます。CDトレイにCDをセットし、停止状態にします。録音ボタンを押すと「REC」が点滅します。この状態で録音ボタンを再び押すと録音が始まります。そのままCD1枚録音できます。
- ③録音の途中で停止ボタンを押すと録音が終了します。
- ④1曲だけの録音は、頭出して曲を再生状態にし、②③の操作をしてください。



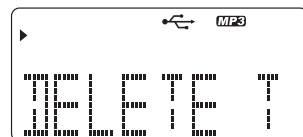
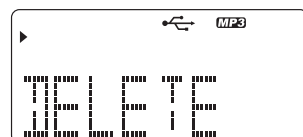
カセットテープからの録音

- ①USBメモリーをUSB挿入口に奥までしっかり差し込みます。
- ②機能選択ボタンを**TAPE**にます。カセットテープをセットします(デッキ1・デッキ2どちらからでも録音できます)。テープを再生状態(音楽が聞こえる)にし、録音ボタンを押すとディスプレイに「USB」が表示され点滅します。「USB」の表示を確認しもう一度録音ボタンを押すと「REC」が点滅し録音が始まります。
- ③録音したい曲が終わったら、停止ボタンを押すと録音完了です。
- ④②～③をくり返すとUSBメモリーがいっぱいになるまで録音できます。



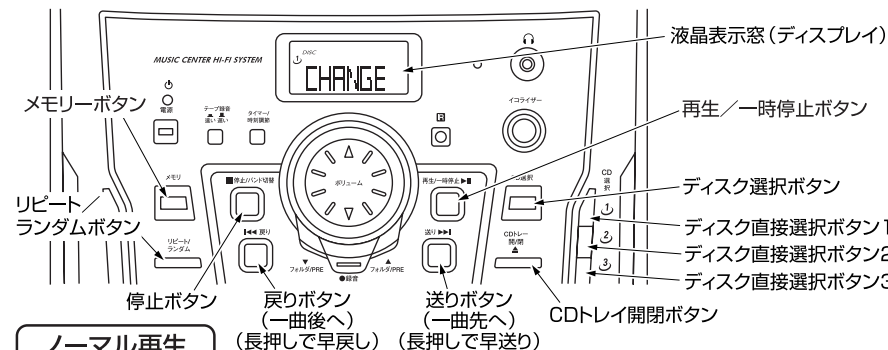
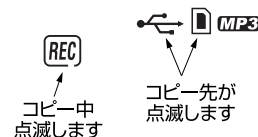
録音の消去

- ①**USBメモリー**及び、**SDカード**に録音した曲を消去することができます。
- ②機能選択ボタンでUSBまたはSD CARDを選択し、消去したい曲をフォルダー→曲目の順で画面に表示させ、リモコンの消去ボタンを押すと「DELETE」表示が流れますのでもう一度消去ボタンを押すと消去します。また、曲の再生中にリモコンの消去ボタンを押しても消去することができます。
- ③消したいフォルダーを表示させ、リモコンの消去ボタンを押すと「DELETE L」が表示されますでもう一度消去ボタンを押すと指定したフォルダーが消去されます。



音楽のコピー

- 本製品は音楽をUSBメモリーからSDカードへ、SDカードからUSBメモリーへコピー録音できます。
- ①**USBメモリー**と**SDカード**を両方を挿入口に奥まで確実にに入れてください。
 - ②**USBメモリー**から**SDカード**へコピー録音は、**USBメモリー**のコピーしたい曲目を画面に表示し、録音ボタンを2回押すとコピーが始まります。コピーが終わると自動的に終了します。
 - ③**SDカード**から**USBメモリー**へコピー録音は、**SDカード**のコピーしたい曲目を画面に表示し、録音ボタンを押すとコピーが始まります。コピーが終わると自動的に終了します。



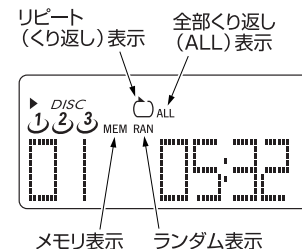
ノーマル再生

- CDディスクをセットします。(3枚までセットできます。自動的に3枚のCDを認識します。)
- ディスプレイに1枚目の曲数とトータル演奏時間が表示されます。**再生/一時停止**ボタンを押すと演奏が始まります。1曲目から最後の曲まで順番に再生され、終わると自動的に2枚目のCD情報がディスプレイに表示され、再生が始まります。終わると3枚目に移ります。3枚目が終わると自動的に停止モードに戻ります。**CD選択**ボタンまたは、**ディスク選択**ボタンで再生するCDを選べます。
- 演奏中にディスプレイの曲番号を見ながら**送り・戻り**ボタンを押して曲を選ぶことができます。
- 演奏中に**再生/一時停止**ボタンを押すと、一時的に停止します。もう一度押すと演奏が再開されます。**停止**ボタンを押すと演奏が終了します。**CD開閉**ボタンを押して、ディスクを取り出してください。

注意 再生の途中で一部のCDで音飛びや再生エラーがおこることがあります。その時は機器の点検をしてから他のCDを入れ、正常に再生できるならば、原因はCDディスクのキズ、汚れです。CDを点検し、汚れをふき取ってから再度CDをセットしてください。

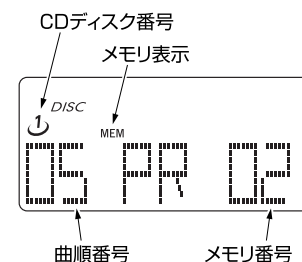
くり返し(リピート)再生/ランダム再生

- 演奏中にディスプレイの曲番号を見ながら**送り(一曲先)・戻り(一曲後)**ボタンを押して曲を選び、**リピート/ランダム**ボタンを押すとその曲をくり返し再生します。(ディスプレイに \odot 表示) **リピート/ランダム**ボタンをもう一度押すとディスプレイに \odot **ALL**が表示されます。この表示でCD内の全部の曲がくり返し演奏されます。キャンセルする場合は**停止**ボタンを押してください。
- リピート/ランダム**ボタンを数回押すとディスプレイに**RAN**が表示されます。**再生/一時停止**ボタンを押すと順不同で演奏が始まります。キャンセルする場合は**停止**ボタンを押してください。



プログラム(メモリ)演奏

- 好きな曲順に16曲までプログラムすることができます。**停止**ボタンを押してスタンバイ状態にしてからプログラムします。
- ①**メモリ**ボタンを押します。ディスプレイに **01 PR-01** が表示されます。
 - ②**送り・戻り**ボタンを押して曲番号を選択し、**メモリ**ボタンを押すとプログラムされます。これを繰返して、他の曲も選択し、プログラムします。
 - ③すべての曲をプログラムできたら、**再生/一時停止**ボタンを押すとプログラムされた順番に再生演奏されます。(ディスプレイに**MEM**表示)
 - ④キャンセルする場合は、**停止**ボタンを2回押すと解除されます。



USBメモリー・SDカードの使い方

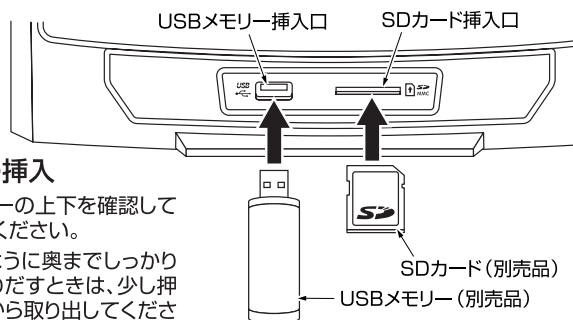
注意 USBメモリーおよびSDカードに音源が読み込めない等、一部粗悪品が見受けられます。なるべくブランド品をお買い求めの上、ご使用ください。

※USBメモリーとSDカードは基本的に同じように取扱ってください。

使用できるUSBメモリーとSDカードは2GBまでとなりますのでご注意ください。

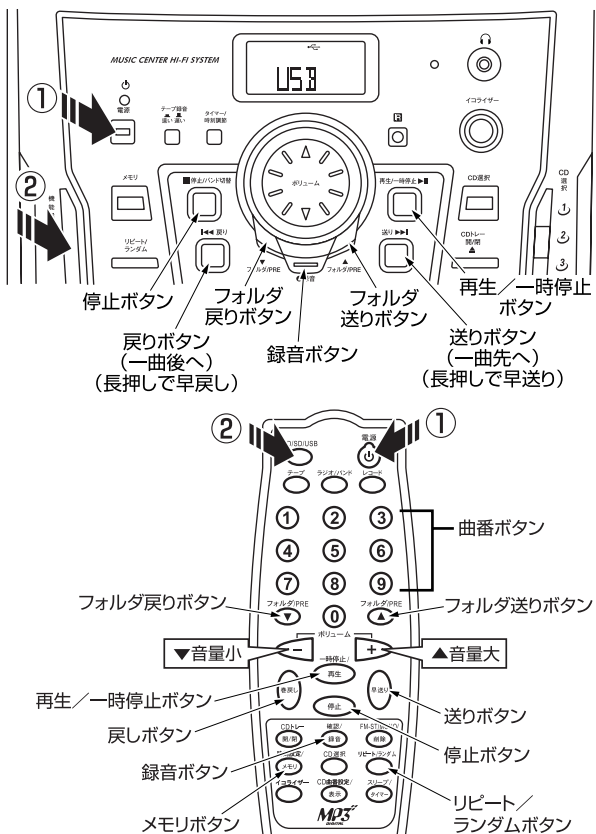
■USBメモリー、SDカードの挿入

- USBメモリー挿入口にUSBメモリーの上下を確認して図のように奥までしっかり挿入してください。
- SDカードも上下を確認して図のように奥までしっかり挿入してください。SDカードを取り出すときは、少し押すと半分ほど出てきますのでそれから取り出してください。SDカードは別売りです。



ノーマル再生

- ①電源ボタンを押し電源を入れます。
- ②機能選択ボタンを押し**USB (SD CARD)**を選びます。
- ③**USBメモリー (SDカード)**を水平に奥まで確実に差し込みます。
- ④**USBメモリー (SDカード)**に録音されている曲が自動で1曲目から順番に再生されます。
- ⑤**再生/一時停止**ボタンを押すと曲が停止し、もう一度押すと再び再生状態になります。
- ⑥再生中または停止中に**送り**ボタンを押すと一曲先の曲が再生されます。**戻り**ボタンを押すと曲の始めに戻ります。続けて押すと一曲前の曲が再生されます。
- ⑦再生中に**送り**ボタンを長押しすると早送りされ、**戻り**ボタンを長押しすると早戻りします。
- ⑧**フォルダ送り**ボタンを押すと次のフォルダーに進み、フォルダー内の曲が再生されます。**フォルダ戻り**ボタンを押すと前のフォルダーに戻ります。
- ⑨**停止**ボタンで終了になります。



くり返し(リピート)再生/ランダム再生

- 演奏中にディスプレイの曲番号を見ながら**送り**(一曲先)、**戻り**(一曲後)ボタンを押して曲を選び、**リピート/ランダム**ボタンを押すとその曲をくり返し再生します。(ディスプレイに **ALL** 表示)**リピート/ランダム**ボタンをもう一度押すとディスプレイに **ALL** が表示されます。この表示でホルダー内の全部の曲がくり返し演奏されます。キャンセルする場合は**停止**ボタンを押してください。
- リピート/ランダム**ボタンを数回押すとディスプレイに**RAN**が表示されます。**再生/一時停止**ボタンを押すと順不同で演奏が開始されます。キャンセルする場合は**停止**ボタンを押してください。

プログラム(メモリ)演奏

- 好きな曲順にプログラムすることができます。**停止**ボタンを押してスタンバイ状態にしてからプログラムします。
- ①**メモリ**ボタンを押します。ディスプレイに **A01 TO:00** が表示されます。
- ②**送り・戻り**ボタンを押して曲番号を選択し、**メモリ**ボタンを押すとプログラムされます。これを繰り返して、他の曲も選択し、プログラムします。
- ③すべての曲をプログラムできたら、**再生/一時停止**ボタンを押すとプログラムされた順番に再生演奏されます。(ディスプレイに**MEM**表示)
- ④キャンセルする場合は、**停止**ボタンを2回押すと解除されます。

録音方法

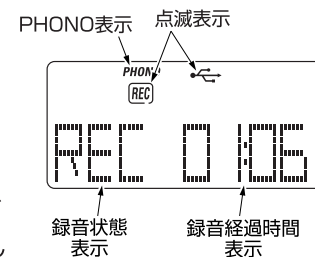
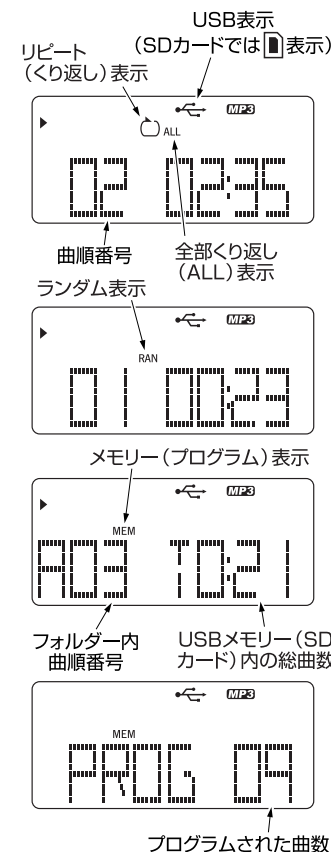
※USBメモリー、SDカードへの録音は、CD、レコード、テープから行なえます。USBメモリーからSDカード、SDカードからUSBメモリーへも行なえます。

※ラジオからの録音は出来ません。

※SDカードへの録音は、録音する機能を選択して頭出しボタン(戻し・先送り)で「**USB**」点滅表示から「**CARD**」の点滅表示に切換えてから録音ボタンを押し行なってください。

レコードの録音

- ①USBメモリーをUSB挿入口に奥までしっかり差し込みます。(SDカードにも録音できます。SDカードに録音する場合は、機能選択ボタンでSD CARDを選択してください。)
- ②機能選択ボタンを**PHONO**にします。レコードを演奏状態にし**録音**ボタンを押すとディスプレイに「**USB**」が表示され点滅します。「**USB**」の表示を確認しもう一度**録音**ボタンを押すと「**REC**」が点滅し録音が始まります。
- ③録音したい曲が終わったら、**停止**ボタンを押すと録音完了です。
- ④②～③をくり返すとUSBメモリーがいっぱいになるまで録音できます。



※USBメモリーとSDカードを同時にセットし録音する場合は、**戻り**、**送り**ボタンにて録音するメディアを選択してください。